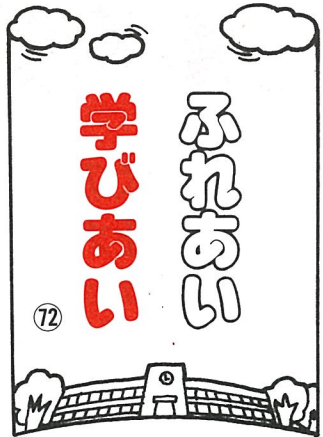


手づくりの楽しさを

南条小で竹ぼうき作り



工夫すれば
買わなくても使える

5年 林 なつき

おじいさん、おばあさんに教えてもらって竹ぼうきを3本作りました。

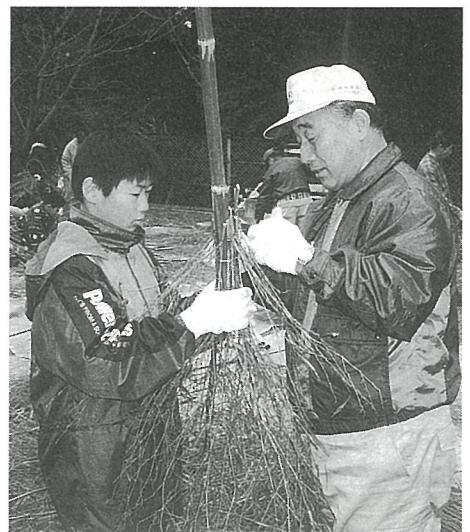
「工夫すれば買わなくても使えるんだな」と思いました。キリで竹に穴をあけるのが楽しかった。

一番楽しかった学習

5年 実川 貴之

ぼくは竹ぼうき作りをしてよかったです。

初めはどう作るのかわからなかったが、だんだん楽しくなってきた。今までの学習の中では一番楽しかった。こういう学習もたまにはいいなと思いました。



竹ぼうき作りのポイントは、穂の並べ方。手ほどきをうけ、子供たちは一生懸命です。

心の学習

「学校―家庭―地域」の連携によってさまざまな教育が行われています。

お年寄りとの交流や体験活動をととして「思いやりの心」「奉仕の心」を育てています。



になる福

●おしゃべりおに、病気おに

3年♡健康福

●あだ名おに、悪口おに

4年♡がんばる福

●さばりおに、いたずらおに

5年♡健康福

●忘れ物おに

6年♡自分の意見をはっきり言える福

●悪い言葉使いおに

「福は内、鬼は外」……

節分のいわれを知ってみんなで楽しいひとときを過ごそうと、1月31日日吉小学校で豆まき集會が行われ、

豆まきやゲーム、各学年から「呼びよせたい福」、「心から追いはらいたい鬼」の発表がありました。

1年♡みんな健康でなかよくできる福

●なぜおに、なかよくできないおに

2年♡健康で笑顔いっぱい

「心のおに」をやっつけろ!

＝ 日吉小で豆まき集會 ＝

りっぱな竹ぼうきができ
あがりました。



「手づくりの楽しさを子供たちに」と、2月7日、南条地区社会福祉協議会（佐久間英一会長）の協力で、竹ぼうきづくりが行われました。穂の部分になるもうそう竹は、昨年10月に切り取り3ヶ月間天日干しをしたもので、この日、鈴木總男さん（小川台）の指導を受けながら柄となる真竹と組み合わせ80本ほど作りました。子供たちは慣れない手つきで戸惑いながらも物をつくる喜びと大切にすることを学びました。竹ぼうきは学校や自宅で使うほか老人ホームや八日市場養護学校へ寄附されます。

